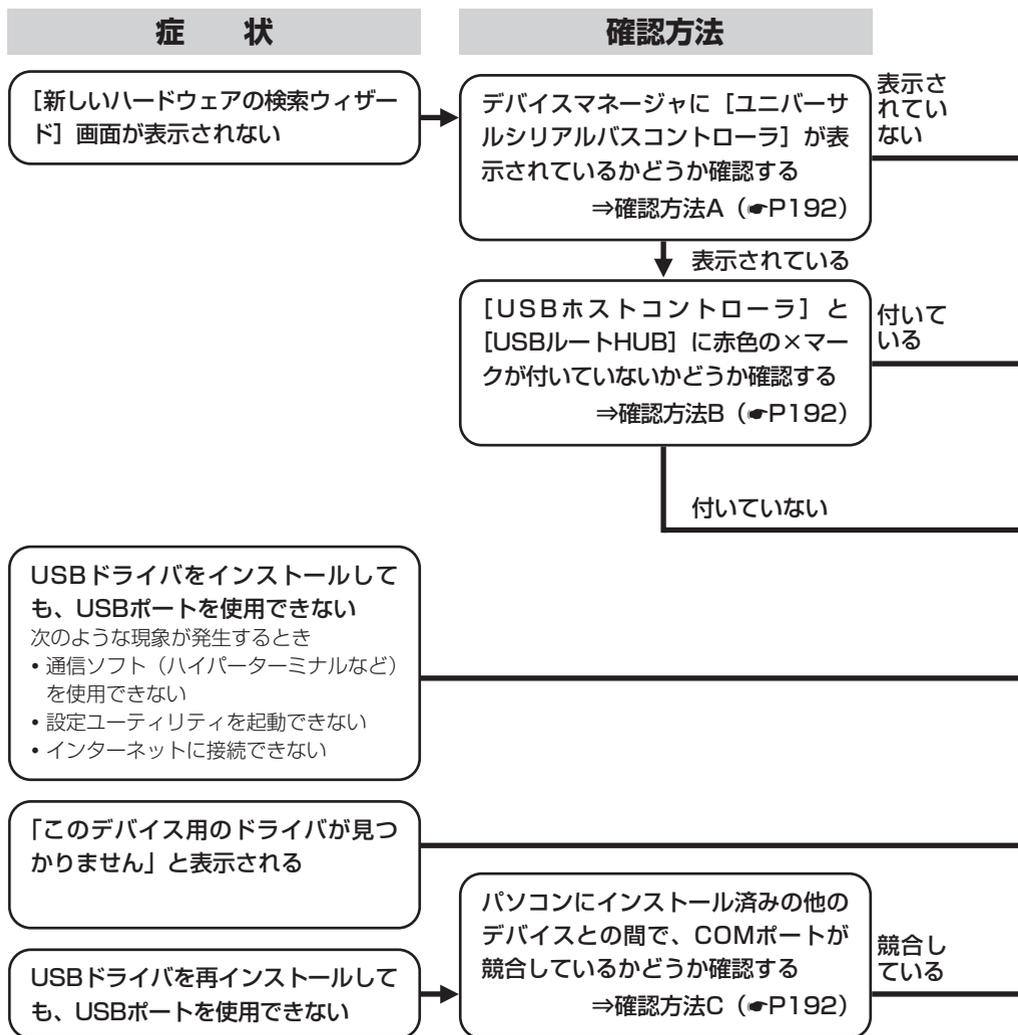


ご参考

- 1 USBドライバについて190
- 2 RS-232Cポート用ドライバ
について201
- 3 ご参考に202

Windows®でUSBドライバを使用できないときは

Windows®でUSBドライバをインストールできないとき、USBドライバをインストールしても使用できないときは、次の図に従って原因を突き止め、対処してください。



原因	対処方法
パソコンのBIOS設定でUSB機能が無効になっている	パソコンのBIOS設定でUSB機能を有効にする ⇒対処方法1 (●P193)
[USBホストコントローラ] または [USBルートHUB] が使用不可になっている	[USBホストコントローラ] と [USBルートHUB] を使用可能にする ⇒対処方法2 (●P193)
以前にUSBドライバをアンインストールしたとき、正常にアンインストールできなかった	USBドライバを再インストールする ⇒対処方法3 (●P193)
USBドライバのインストールに失敗している	
誤って他のドライバをインストールした	•他のドライバを削除する •USBドライバを再インストールする ⇒対処方法3 (●P193)
他のデバイスと競合しているため、USBドライバを使用できない	他のデバイスとの競合を回避する ⇒対処方法4 (●P193)

確認方法

確認方法A

【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】を確認する

- Windows Vista®の場合
 - ① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [システム] をクリックする。
 - ② [デバイスマネージャ] をクリックする。
 - ③ 一覧に [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] が表示されているかどうかを確認する。
- Windows® XPの場合
 - ① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] をクリックする。
 - ② [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックする。
 - ③ 一覧に [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] が表示されているかどうかを確認する。
- Windows® 2000の場合
 - ① [スタート] ボタンをクリックして [設定] - [コントロールパネル] をクリックする。
 - ② [システム] アイコンをダブルクリックして、[ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックする。
 - ③ 一覧に [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] が表示されているかどうかを確認する。

確認方法B

【USBホストコントローラ】と【USBルートHUB】を確認する

- ① [デバイスマネージャ] の画面で、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] をダブルクリックする。
- ② [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] 内の [USBホストコントローラ] と [USBルートHUB] に赤色の×マークが付いているかどうかを確認する。

確認方法C

COMポートが競合しているかどうかを確認する

- 本商品のUSBドライバ
 - Windows Vista®の場合
 - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [電話とモデムのオプション] - [モデム] 内のINSメイトV30Slim USBの接続先で確認する。
 - Windows® XPの場合
 - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション] - [モデム] 内のINSメイトV30Slim USBの接続先で確認する。
 - Windows® 2000の場合
 - [コントロールパネル] の [電話とモデムのオプション] - [モデム] 内のINSメイトV30Slim USBの接続先で確認する。
- 拡張RS-232Cポート
 - [デバイスマネージャ] 画面の [ポート (COM/LPT)] で確認する。
- 赤外線デバイス
 - [コントロールパネル] の [赤外線モニタ] - [オプション] で確認する。

- ※ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] は、[USB (Universal Serial Bus Controller)] と表示される場合もあります。
- ※ [USBホストコントローラ] の名称は、パソコンの種類により異なります。名称の最後が [Host Controller] または [ホストコントローラ] となっているのが一般的です。
- ※ [USBルートHUB] は、[USBルートハブ] などと表示される場合もあります。
- ※ ここに記載しているものは、あくまで確認方法の例ですので、装置またはパソコンの種類によっては、手順が異なる場合があります。

対処方法

対処方法1

BIOS設定でUSB機能を有効にする

BIOSの設定方法は、パソコンの種類によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

対処方法2

[USBホストコントローラ]と[USBルートHUB]を使用可能にする

＜例＞ [USBルートHUB] に赤色の×マークが付いている場合

- ① [USBルートHUB] をダブルクリックして、プロパティ画面を開く。
- ② [デバイスの使用状況] の [このデバイスを使う (有効)] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする。
- ③ 赤色の×マークが消えていることを確認する。
- ④ パソコンを再起動する。
* [USBホストコントローラ] に赤色の×マークが付いている場合も同様の手順を行ってください。

対処方法3

USBドライバを再インストールする

- ① 「不要になったUSBドライバを削除するには」(●P195) の手順に従って、インストールしたUSBドライバを削除する。
- ② USBドライバをインストールする。

対処方法4

他のデバイスとの競合を回避する

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1. 競合している他のデバイス (拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス) を使用不可にする
 - ① [デバイスマネージャ] 画面の [ポート (COM/LPT)] で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。
 - ② [デバイスの使用状況] の [このデバイスを使わない (無効)] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする。
 - ③ 競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付く。
 - ④ パソコンを再起動する。
2. 他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更する
他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるか、その製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

USBドライバをアップデートするには (Mac OS)

本商品では、イーージーウィザードを利用してUSBドライバを最新のものにアップデートすることができます。バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品ののご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ <http://web116.jp/ced/>

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

Mac OS 8.6/9/9.1/9.2をご利用の場合

1 イーージーウィザードを起動する。(●P69)

2 [USBドライバのアップデート] をクリックする。

3 [ドライバの指定] をクリックする。

4 ダウンロードしたファイルを保存してあるフォルダを指定し、[選択] をクリックする。

5 画面の指示に従い、[アップデート] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。



お知らせ

- Mac OS Xでは、Mac OS Xの標準USBドライバを使用するため、USBドライバのアップデートはできません。

不要になったUSBドライバを削除するには

USBポートを使用しなくなった場合は、インストールしたUSBドライバを削除することができます。

USBドライバを削除する前の準備

- 1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続しておく。
- 3 Windows®をご利用の場合は、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。
CD-ROMをセットした際に、案内ページが起動した場合は、[END] をクリックして案内ページを閉じてください。

Windows®をご利用の場合

- 1 CD-ROMの中の [USB] フォルダにある [UNINST] フォルダを開き、[VISTA]フォルダの[Uninst.exe]を実行する。
Windows® XP、Windows® 2000をお使いの場合は、CD-ROMの中の [USB] フォルダにある [UNINST] フォルダを開き、[XP_2K] フォルダの [Uninst.exe] を実行する。
- 2 画面の説明に従って、[OK] をクリックする。
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [INSメイトV30Slimユーティリティ] - [INSメイトSlimユーティティアンインストール]をクリックする。
- 4 画面の説明に従って、[はい] をクリックする。
- 5 本商品とパソコンのUSBケーブルの接続を外し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、パソコンを再起動する。



お知らせ

- Windows®をご利用の場合にUSBドライバの削除を行った場合、RS-232Cポート用のモデム定義ファイルとドライバも削除されます。

Mac OS 8.6/9/9.1/9.2をご利用の場合

1 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックする。

2 [システムフォルダ] 内にある [機能拡張] フォルダを開き、[USB INSMATE V30Slim] を [ごみ箱] にドラッグする。

3 本商品とパソコンのUSBケーブルの接続を外し、パソコンを再起動する。



お知らせ

- Mac OS Xをご利用の場合は、USBドライバはMac OS Xの標準USBドライバを使用しますので削除しないでください。

●インストールに関して

Q.USBポートを使用できるパソコンのOSは何ですか。

A.Windows®では、Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000です。
Macintoshでは、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2およびMac OS X (10.0、10.1) です。

[Windows®]

Q.USBドライバのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A.以下の手順で、もう一度インストールをしてください。

●Windows Vista® の場合

- ①パソコンを再起動します。
- ②「不要になったUSBドライバを削除するには」の「Windows® をご利用の場合」(●P195)の手順に従い、USBドライバを削除します。
- ③ [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [INSメイトV30Slimユーティリティ] - [INSメイトV30Slimイーザー] をクリックします。
起動中の画面が表示され、P41手順1の画面が表示されます。
- ④「USBポートを使うには (Windows Vista®)」(●P41)の手順でUSBドライバをインストールします。

●Windows® XP/2000の場合

- ①パソコンを再起動します。
- ②「不要になったUSBドライバを削除するには」の「Windows® をご利用の場合」(●P195)の手順に従い、USBドライバを削除します。
- ③ [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]または [すべてのプログラム] - [INSメイトV30Slimユーティリティ] - [INSメイトV30Slimイーザー] をクリックします。
起動中の画面が表示され、P45手順1の画面が表示されます。
- ④「USBポートを使うには (Windows® XP/2000)」(●P45)の手順でUSBドライバをインストールします。

Q.イーザーの実行途中でUSBドライバのアンインストールを行ったのですが。

A.イーザーの実行途中でUSBドライバのアンインストールを行った場合は、イーザーのアンインストールを行い、CD-ROMの案内画面から再度ユーティリティのインストールを行ってください。

Q.イーザーを用いてのUSBドライバのインストールに失敗したのですが。

A.イーザーを用いてのUSBドライバのインストール、またはUSBドライバのアップデートに失敗した場合は、パソコンを再起動してやり直してください。
それでも失敗する場合は、付属のCD-ROM「参考情報」の「イーザーが利用できないときは」の手順に従って、手動でUSBドライバのインストールを行ってください。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

[Macintosh]

Q.USBドライバが正常にインストールできたかどうかの確認方法を教えてください。

A.以下の手順で確認できます。

- ①パソコンと本商品の電源が入っていることを確認します。
- ②パソコンと本商品がUSBケーブルで接続されていることを確認します。
- ③システムプロフィール画面の「デバイスとボリューム」のUSBの欄（USB0/USB1など）に「通信」と表示されていることを確認します。
- ④「通信」をクリックします。
- ⑤ドライバ名に「USB INSMATE V30Slim」が表示されていることを確認します。

●データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q.通信ソフトウェアやV30Slim設定ユーティリティ動作中にUSBケーブルの抜き差しや本商品の電源のOFF→ONを行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A.お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。そのような場合にはパソコンを再起動してください。

- ・USBケーブルの抜き差し（パソコンのUSBポート、本商品のUSBポートどちらでも）
- ・本商品の電源をOFF→ONしたとき
- ・通信ソフトウェア上で、本商品のリセット処理（ATZ98）を行ったとき
- ・電話機からの設定で、リセット処理を行ったとき

Q.パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信（インターネット接続）や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A.パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。

また、パソコンの省電力機能によりUSBの使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの [パワーマネジメント] または [電源の管理]などで、パソコンの省電力機能を停止させてください。

さらに、パソコンによっては起動時のBIOS設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

USBポートに関するQ&A

●その他

Q.パソコン動作中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生する。

A.お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中にUSBケーブルの抜き差しや、本商品の電源OFF→ONを行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。
その場合はパソコンを再起動してください。

Q.他のUSBデバイスと同時に使用できますか。

A.1台のパソコンに本商品と他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが1つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。
このような場合には、他のUSBデバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q.Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000のパソコンで、USBポートが使用できないのですが。

A.パソコンによってはUSBポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

Q.USBポートを使用する場合のCOMポートはどこですか。

A.一般的にはCOMポート3以降です。
COMポートはパソコンのOSが自動的に決定します。パソコンに接続する周辺機器によっては使用するCOMポートが重複し、USBポートが使用できない場合があります。
このような場合には周辺機器の接続を外し、周辺機器用に使用するドライバ類を削除してください。

Q.本商品のERランプが点灯したままになってしまったのですが。

A.回線を切断するのに失敗するなどして、本商品のERランプが点灯したままになっている場合は、パソコンを再起動してください。

Q.Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000で、USBケーブルを別のUSBポートにつなぎ替えると新しくUSBドライバがインストールされ、その後設定ユーティリティが起動できなくなる。

A.Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000では、接続しているUSBポートを変更した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されたり、COMポートの番号割付が変わることがあります。接続しているUSBポートを変更する場合は、「不要になったUSBドライバを削除するには」(●P195)の手順に従って、いったんUSBドライバを削除してから再度インストールをしてください。

Q.Windows® XPで、USBケーブルを抜き差しするとインターネット接続ができないのですが。

A.USBケーブルの抜き差しを行うとモデムの認識に時間がかかりますので、しばらく待って(約20秒)からもう一度インターネット接続を行ってください。

Q.Windows® XPを利用していますが、USBケーブルを抜き差ししたり、INSメイトV30Siimの電源を切ったり入れたりすると、ダイヤルアップ接続の設定が128 K (マルチリンクPPP) から64 K (非同期/同期PPP変換)に変更されてしまうのですが。

A.Windows® XPでは、USBケーブルを抜き差ししたり、本商品の電源を切ったり入れたりすると、ダイヤルアップ接続の設定が初期化されてしまう場合があります。このような場合は、ダイヤルアップ接続のプロパティ画面を開き、モデムの構成を再度設定し直してください。

Windows®をご利用の場合は、RS-232Cポート用ドライバを削除することができます。

- 1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。
- 2 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続しておく。
- 3 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。
CD-ROMをセットした際に、案内ページが起動した場合は、[END] をクリックして案内ページを閉じてください。
- 4 CD-ROMの中の [USB] フォルダにある [UNINST] フォルダを開き、[VISTA]フォルダの[Uninst.exe]を実行する。
Windows® XP、Windows® 2000をお使いの場合は、CD-ROMの中の [USB] フォルダにある [UNINST] フォルダを開き、[XP_2K] フォルダの [Uninst.exe] を実行する。
- 5 画面の説明に従って、[OK] をクリックする。
- 6 本商品とパソコンを接続しているRS-232Cケーブルを外し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、パソコンを再起動する。

1
USB
ドライバ
について

2
RS-232C
ポート用
ドライバ
について

3
ご参考
に



お知らせ

- RS-232Cポート用ドライバの削除を行った場合、モデム定義ファイルとWindows®用のUSBドライバも削除されます。

CD-ROMの「参考情報」について

以下の項目については、付属のINSメイトV30Slim専用CD-ROMの「参考情報」(PDFファイル)をご覧ください。

パソコン活用編

■ 設定ユーティリティの活用

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INSメイトV30Slimの設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INSメイトV30Slimを使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

■ RS-232Cポートの設定

イーザーウィザードを使ったRS-232Cポートの設定方法を説明しています。

手動設定編

イーザーウィザードが利用できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明しています。

その他

■ ATコマンド

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。INSメイトV30Slimは、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。ATコマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。(●P67、69、70)

■ 設定記入シート

「参考情報」に、設定記入シート(PDFファイル)を収録してあります。PDFファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。

お知らせ

- PDFファイルをご覧になるには、Adobe® Readerまたはそれに類する機能が必要です。
- Windows®をご利用の場合は、案内ページの「Adobe Readerのインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
- Mac OS 8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2をご利用の場合は、CD-ROMの[Acrobat4]フォルダをダブルクリックして開き、インストーラアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。
- Mac OS X (10.0、10.1)をご利用の場合は、CD-ROMの[Acrobat5]フォルダをダブルクリックして開き、インストーラアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。

お買い求め時の設定に戻すには (初期化)

本商品の設定をお買い求め時の状態に戻すことができます。設定ユーティリティを使う方法、電話機から操作する方法があります。設定ユーティリティで初期化した場合は、設定内容の一部はそのまま残りますが、電話機の操作で初期化した場合は、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

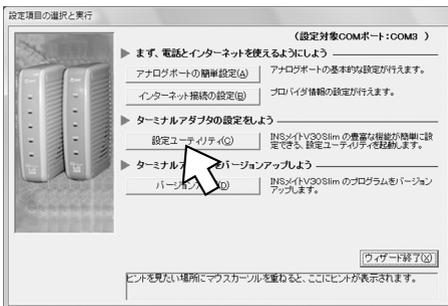
設定ユーティリティで初期化を行う

初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。

- ・ 発信者番号、i・ナンバー電話番号、各ポートの着信する番号、各ポートのサブアドレス、モデムダイヤルライン用契約者回線番号、疑似なりわけ番号、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号、着信転送元サブアドレス、迷惑電話防止電話番号、通信履歴、アナログポートの着信履歴、カレンダー

1 イージーウィザードを起動する。(☛P67、69、70)

2 [設定項目の選択と実行] 画面で [設定ユーティリティ] をクリックする。



3 [初期化] をクリックする。



(次ページへ続きます)

1
USBドライバ
について

2
RS-232C
ポート用ドライ
バについて

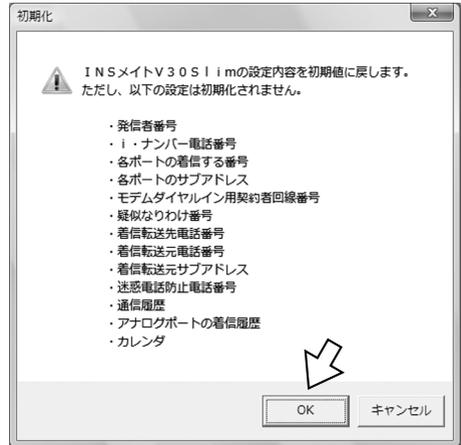
3
参考に

お買い求め時の設定に戻すには (初期化)

(前ページの続きです)

4 [OK] をクリックする。

設定内容が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。



電話機で初期化を行う

電話機の操作で初期化を行うと、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発音音が聞こえます。
INSネット64に接続していない場合は、話中音が聞こえます。



2 ※※※と押す。

「ブツ」という設定開始音が聞こえます。



3 ①を押す。



4 ⑨⑨⑨と押す。



5 * ボタンを押す。



6 9 9 と押す。



7 # を押す。
本商品が再起動します。



8 ハンドセットを置く。



本商品のバージョンアップを行うには

イーザーウィザードを利用して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。

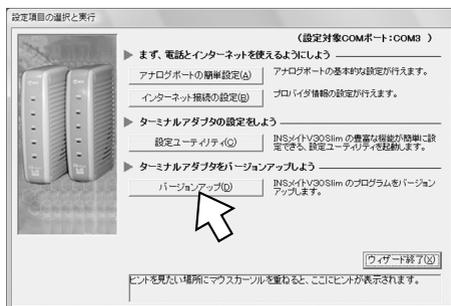
当社のホームページ <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

Windows Vista®の場合を例に説明します。

1 イーザーウィザードを起動する。(●P67、69、70)

2 [バージョンアップ] をクリックする。



ワンポイント

- バージョンアップにかかる時間は
本商品とパソコン間の通信速度や、お使いのパソコンの能力によって異なりますが、約3～10分で終了します。通信速度が19.2 kbit/sの場合は、約10分です。
- バージョンアップに失敗したときは
バージョンアップ失敗の画面が表示されますので、いったん電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが正しく接続されていることを確認して、電源アダプタを差し込み、乾電池を入れ直して、もう一度バージョンアップを実行してください。



お知らせ

- バージョンアップを正常に終了させないと、PWRランプが遅い点滅(緑)し、以下の機能を除き本商品が動作できなくなります。
 - ・アナログポートに接続したアナログ通信機器での発信、着信
 - ・データポートに接続したパソコンからの同期64 kbit/sのインターネット接続
- バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。
 - ・カレンダー設定
 - ・直前の料金情報
 - ・累積料金情報
 - ・データ通信履歴



お願い

- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

3 [オフライン] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする。



4 [参照] をクリックする。



5 [ファイルの場所] で、バージョンアップファイルを保存したフォルダを選択する。



6 バージョンアップファイルを選択して [開く] をクリックする。



(次ページへ続きます)

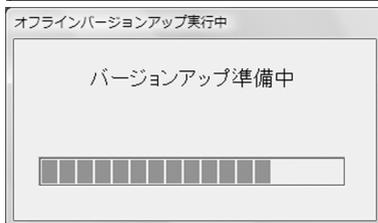
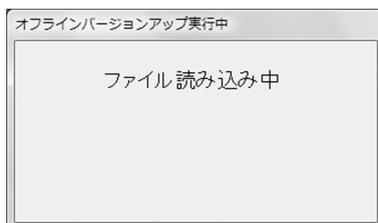
本商品のバージョンアップを行うには

(前ページの続きです)

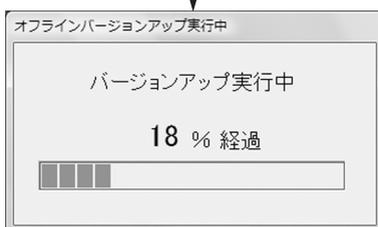
7 [実行] をクリックする。



8 [OK] をクリックする。



バージョンアップが始まります。



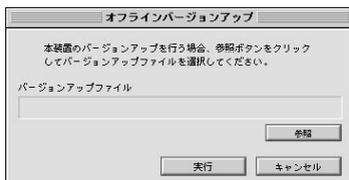
9 完了画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

バージョンアップが終了し、本商品は自動的にリセットされます。

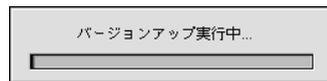


お知らせ

- Macintoshでは以下の画面が異なります。
 - バージョンアップファイルの選択画面



- バージョンアップファイル進行中の画面

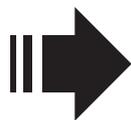
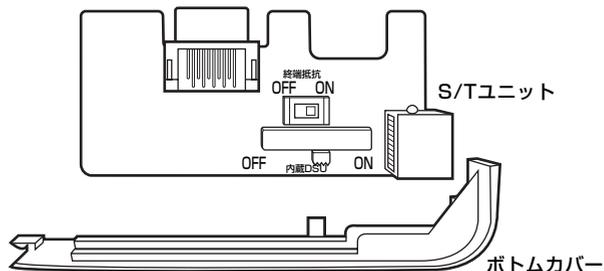


オプションをご利用になるには

本商品のオプションとして、INSメイトV30S/Tユニットを別売しています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●INSメイトV30S/Tユニット

本商品以外のINSネット64用通信機器を接続したり、すでにお持ちのDSUをご利用になることができます。



S/Tユニットを準備する (←P211)

STOP お願い

- S/Tユニットのスイッチを設定する場合は、S/Tユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットに付属のボトムカバーは1個（1色）です。

⚠ 注意

- S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

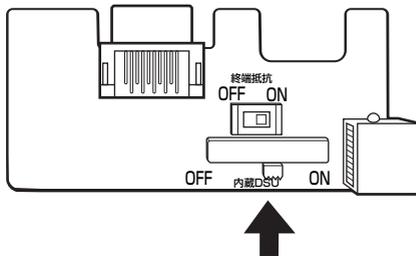
S/Tユニットを準備する

S/Tユニットを装着することにより、外付けDSUを使用したり、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続することができます。

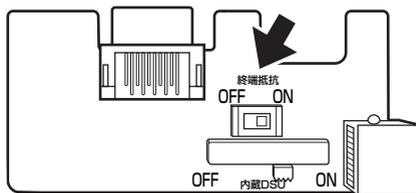
INSネット64用通信機器を接続する台数によって、終端抵抗スイッチの設定、配線方法が異なります。あらかじめS/Tユニットの設定を行ってください。

① S/Tユニットの内蔵DSUスイッチを設定します。

- ・内蔵DSUをご使用になる場合はONにします。
- ・外付けDSUをご使用になる場合はOFFにします。



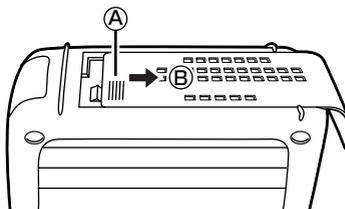
② 接続するINSネット64用通信機器の台数、配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定します。(☛P217)



③ 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

④ 本商品のボトムカバーを取り外します。

Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。



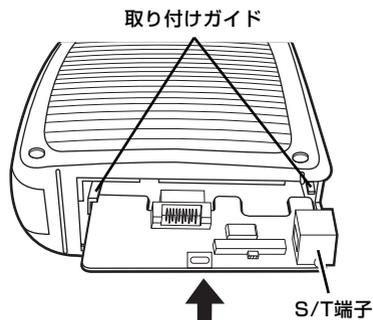
(次ページへ続きます)

オプションをご利用になるには

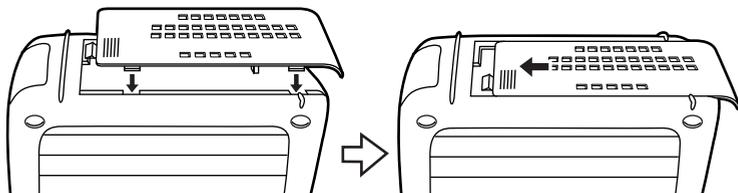
(前ページの続きです)

- 5** S/TユニットのS/T端子を持ち、S/Tユニットの中央白色部分を押し、本商品に取り付けます。

取り付けガイドに沿って取り付けてください。
無理に押し込まないでください。



- 6** S/Tユニットに付属のボトムカバーを取り付けます。



必要に応じて次のページへ進みます。

- すでにお持ちのDSUを接続する (☛P215)
- 本商品以外のINSネット64用通信機器を接続する (☛P216)
- S/Tユニットを取り外す (☛P213)

STOP お願い

- S/Tユニットのスイッチを設定する場合は、S/Tユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットに付属のボトムカバーは1個(1色)です。

⚠ 注意

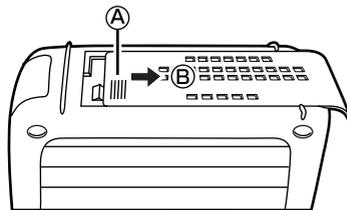
- S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

S/Tユニットを取り外す

① 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

② S/Tユニットのボトムカバーを取り外します。

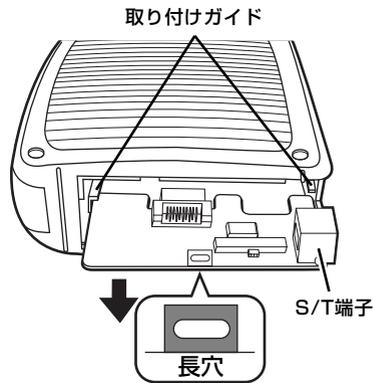
Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。



③ 本商品を押さえながら、S/TユニットのS/T端子を持って、まっすぐ手前に引きます。

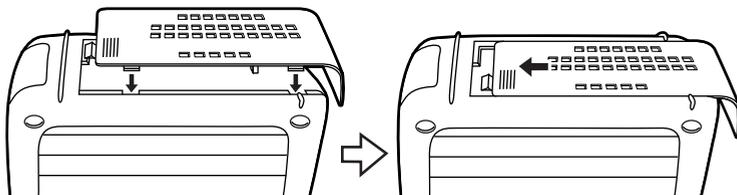
ななめ方向に傾けて引くと、S/Tユニットが外れません。

外しにくいときは、S/Tユニットの中央白色部分の長穴にドライバなどを差し込んで手前に引いてください。



④ 本商品に付属のボトムカバーを取り付けます。

ボトムカバーは、S/Tユニットを取り付ける前に本商品に取り付けられていたものを使用してください。



(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

 **お願い**

- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットの長穴にドライバなどを差し込んだまま、ねじったりひねったりしないでください。

 **注意**

- S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

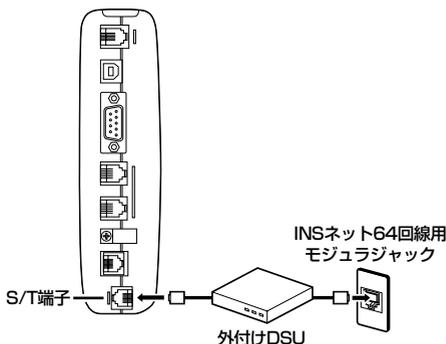
すでにお持ちのDSUを接続する

すでにDSU、DSU内蔵の機器など（外付けDSU）をお持ちの場合は、S/Tユニットを取り付けることにより、外付けDSUをお使いになることができます。

- 1 S/Tユニットの内蔵DSUスイッチをOFFにします。
- 2 配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定し（●P217）、本商品に取り付けます。（●P211）

・DSUに終端抵抗の設定がある場合は、終端抵抗スイッチをOFFに設定してください。

- 3 S/T端子に外付けDSUを接続します。
- 4 INSネット64回線用モジュラジャックに外付けDSUを接続します。



- 5 以降は、内蔵DSUをご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。（●P29）

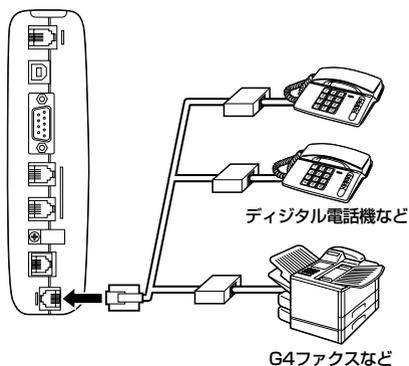
オプションをご利用になるには

本商品以外のINSネット64用通信機器を接続する

S/T端子にケーブル（別売）を接続します。

- ① S/Tユニットの内蔵DSUスイッチをONにします。
- ② 接続する台数、配線方法に合わせて、S/Tユニットの終端抵抗スイッチを設定し（●P217）、本商品に取り付けます。（●P211）
- ③ INSネット64用通信機器をS/T端子につなぎます。

接続ケーブルは別途ご用意ください。



- ④ 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

STOP お願い

- INSネット64用通信機器の接続は、配線が全長で150 m以下となるようにしてください。

INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。
接続方法によって内蔵DSUスイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法		内蔵DSU スイッチ	終端抵抗 スイッチ	接続図
内蔵DSU	本商品にINSネット64用通信機器を1台接続する場合で、接続ケーブルが10m以下の場合	ON (お買い求め時の状態)	ON (お買い求め時の状態)	<p>接続ケーブル 10m以下</p> <p>INSネット64用通信機器</p> <p>INS-MIT V30Slim</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10m以上の場合、および2~7台接続する場合	ON (お買い求め時の状態)	OFF	<p>INS-MIT V30Slim</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗付き)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：OFF</p> <p>※本商品から見て、S/T端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗つきモジュラジャックを使用してください。</p>
外付けDSU	本商品のみを接続する場合	OFF	ON (お買い求め時の状態)	<p>INS-MIT V30Slim</p> <p>INSネット64用通信機器が本商品1台</p> <p>外付けDSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	本商品がDSUから最遠端の場合	OFF	ON (お買い求め時の状態)	<p>外付けDSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>INS-MIT V30Slim</p> <p>本商品をDSUから見て最遠端に接続</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	本商品がDSUから最遠端でない場合	OFF	OFF	<p>外付けDSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>INS-MIT V30Slim</p> <p>本商品をDSUから見て最遠端でない位置に接続</p> <p>終端抵抗：OFF</p>

※モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

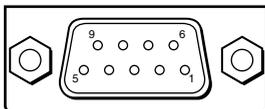
RS-232Cポートインタフェース

本商品のRS-232Cポートにパソコンなどを接続する場合は、付属品のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインタフェースは次のようになっています。

■ コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）

RS-232C



■ RS-232Cポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン V30 Slim	名称	機能
シエル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	INSメイトV30Slimが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON : パソコンにデータ受信を要求します OFF : パソコンにデータ受信を要求しません
2	RD	←	受信データ	INSメイトV30Slimからパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンからINSメイトV30Slimへ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF : パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	データセットレディ	INSメイトV30Slimの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF : パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON : データ送信許可を要求します OFF : データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON : データ送信が可能です OFF : データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON : 着信があることを示します OFF : 着信がないことを示します

■ 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4 (kbit/s)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P29
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P211、217
	外付けDSUに接続していて、S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがONになっている	内蔵DSUスイッチをOFFにしてください	☛P211、217
停電時に動作しない	停電時動作の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください。	☛P27
ACTランプが遅い点滅をしている	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P211、217
PWR (POWER) ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になっていない場合、電源アダプタの接続を確認してください	—
PWR (POWER) ランプ、ERランプ、ACTランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☛P206
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

●アナログ通信機器／INSネット64機器

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P31
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作の新品のアルカリ電池を入れてください	☛P27
	発信規制の設定が「0発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☛P109、182、CD-ROM
	接続機器の設定が「接続しない」になっている	接続機器の設定を「接続しない」以外に設定してください	☛P31、50、62、180

(次ページへ続きます)

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	128KマルチリンクPPP (●CD-ROM) でデータ通信中で、かつリソースBOD (●CD-ROM) を「使用しない」に設定している	データ通信を中断してください またはリソースBODを「使用する」に設定してください	●CD-ROM
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ(着信拒否)」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リング」に設定してください	●P120、180、CD-ROM
	サブアドレスなし着信の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信を「着信する」に設定してください	●P158、180、CD-ROM
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否を「しない」に設定してください	●P110、182、CD-ROM
	グローバル着信の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信を「着信する」に設定してください	●P152、178、CD-ROM
	データポート設定のRVS-COM転送の設定が「ただちに自動転送」に設定されている	データポート設定のRVS-COM転送を「アナログ通信機器の操作で転送」に設定してください	●CD-ROM
	着信転送または疑似着信転送が設定されている	着信転送を「使用しない」に設定してください	●P162、172
INSネット64用通信機器の発信、着信ができない	S/T端子にINSネット64用通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	●P216
	S/Tユニットの終端抵抗スイッチが正しく設定されていない	終端抵抗スイッチを正しく設定してください	●P211、217
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	ファクスを接続したアナログポートのHLCの設定が「する」で、かつ接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」の場合に、発信側が携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などからの着信は、HLCの設定が「電話」となるため着信しません 電話もファクスも着信を受けようとするときは、HLC設定を「しない」に設定してください	●P159、184、CD-ROM
	FAX自動転送 (●P137) の設定が「する」に設定されていてファクスがTEL1ポートに接続されている	ファクスをTEL2ポートに接続してください	—

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P50、62、142、180
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P154、180、CD-ROM
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P144、184、CD-ROM
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取り上げると「ブブブブ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげるまでの間隔が短いため、内線機能がはたらいっている	ハンドセットの操作をゆっくり行ってください	●P108
		フッキング検出タイムを「長い」に設定してください	●P113、176、CD-ROM
		内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	●P113、174、CD-ROM
TEL1ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時1~2秒で切断されてしまう	FAX自動転送機能がはたらき、TEL2ポートへ転送されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	●P137、174、CD-ROM
アナログ通信機器で相手の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器のPADを設定してください アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器のPAD設定がない場合は、本商品の受話音量調整を「小」に設定してください	●P109、182、CD-ROM

(次ページへ続きます)

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください アナログ通信機器にFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	●P29
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品に近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品から離してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内(104)や携帯電話機、PHS対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INSキャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	●P137,174、CD-ROM
疑似キャッチホンが利用できない	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	●P137,174、CD-ROM
INSナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイを契約してください	●P142、146
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知またはネーム・ディスプレイ発信者名通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知またはネーム・ディスプレイ発信者名通知を「する」に設定してください	●P50、62、142、146、180、186、CD-ROM
	ナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイまたはネームディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	●P142、146
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	●P50、62、142、180、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	●P144,184、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	●P144
INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1ポートまたはTEL2ポート設定画面の発信者番号欄にINSボイスワープ／INSボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	●P167,182、CD-ROM

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
INSメッセージ到着お知らせサービスが利用できない	メッセージありランプ表示またはメッセージあり情報通知が「しない」になっている	メッセージありランプ表示またはメッセージあり情報通知を「する」にしてください	☛P135、176、180、CD-ROM
	INSメッセージ到着お知らせサービス対応のアナログ通信機器が接続されていない	INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器を接続してください	☛P135
INSネット64用通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください 接続したパソコンにFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☛P29

故障かな？と思ったら

●パソコン接続

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
設定ユーティリティが 開けない インターネットに接続 できない	RS-232Cポートをご利用のとき本商品 とパソコンの端末速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確 認してください	—
	MacintoshでRS-232Cポートを ご利用のとき、ER信号制御を「常 時ON」に設定していない	ER信号制御を「常時ON」に 設定してください	●CD-ROM
	USBポートをご利用のときUSBド ライバをインストールしていない	USBドライバをインストール してください	●P41、45、 55、59、CD-ROM
	本商品とパソコンが接続されてい ない	本商品とパソコンの接続を確 認してください	—
	インターネット接続時に、接続の設 定が正しく設定されていない	「インターネットにうまく接続 できないときのチェックポ イント」を参照してください	●P104
	RS-232Cポートをご利用のとき、 RS-232Cポート用ドライバが正常 にインストールされていない	RS-232Cポート用ドライバを アンインストールしてください	●P201
		アンインストール後、RS- 232Cポートを使うための設 定を再度行ってください	●CD-ROM
RS-232Cポートをご利用のとき、 パソコンを起動してからRS-232C ケーブルを接続した、または本商品 の電源を入れた	本商品の電源を入れ、RS- 232Cケーブルで接続してか ら、パソコンを起動してくだ さい	—	
パソコン内蔵のモデム が使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線 を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商 品のTEL1ポートまたはTEL2 ポートを接続してください	—
USBポートが使用でき ない	USBドライバをインストールして いない	USBドライバをインストール してください	●P41、45、 55、59、CD-ROM
	OSのバージョンがUSBに対応して いない	使用しているパソコンのOSの バージョンを確認してください	●P36、37
	COMポートが開いていない	COMポートが開いているか 確認してください	●P72、190
	USBケーブルが正しく接続されて いない	USBケーブルの接続を確認し てください	●P41、45、 55、59、CD-ROM
USBドライバをインス トールしたが動作しな い（「デバイスマネー ジャ」画面のUSBドラ イバに「！」が付いている）	USBドライバが正しく設定されて いない	USBドライバを正しく設定し てください	●P190
本商品とパソコンを RS-232Cケーブルで 接続してからパソコン を起動すると「新しい ハードウェアを検出 しました」と表示され、 ハードウェアの追加ウ ィザードが起動する	モデム定義ファイルやRS-232Cポ ート用ドライバのインストールが完 了していない	手順に従ってインストールを 完了してください	●CD-ROM
	以前にインストールしたRS-232C ポートと異なるRS-232Cポートに 接続している	以前にインストールしたRS- 232Cポートに接続してくだ さい 接続するRS-232Cポートを 変更する場合は、いったんド ライバを削除してから再度イ ンストールしてください	●201

●OS関連

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルが対応しているOSの種類は？

A.Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000、Mac OS 8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2、Xに対応しています。

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは英語版OS (Windows®、Mac OS) に対応していますか？

A.英語版OS (Windows®、Mac OS) には対応していません。

Q.USBポートでデータ通信をしたいのですが？

A.Windows Vista®、Windows® XP、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2またはMac OS Xがインストールされていることが必要です。

●設置／接続

Q.内蔵のDSUを使用しないようにできますか？

A.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）をご利用になることにより、内蔵DSUを使用しないようにできます。

Q.極性反転スイッチはついてますか？

A.本商品はINSネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。

Q.リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？

A.ありません。本商品をリセットする場合は電源プラグをコンセントから抜いて（乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して）、再度差し込んでください（再度乾電池を取り付けてください）。この場合、設定内容は変更されません。なお、本商品のすべての設定内容をリセットするにはパソコンのターミナルソフトからATコマンドでATZ98と入力してください。または、電話機からリセット処理（機能番号：999 ●P178、204）を行ってください。

Q.乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？

A.乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていると不意の停電の際でも、すべてのポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。

Q.乾電池には何を使ってもいいのですか？

A.公称電圧1.5 Vのアルカリ単3乾電池に限ります。電圧の低い1.2 Vのニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

(前ページの続きです)

Q.停電時に使用できる機能は何ですか？

A.パソコンなどがバッテリーで動作をしていれば、すべての機能が使用できます。

Q.停電になって電池動作モードに切り替わったあと、何時間の動作ができますか？

A.アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。

Q.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）のS/T端子に他のDSU内蔵INSネット64用通信機器を接続することができますか？

A.DSUを未使用にできるタイプ（当社製：INSメイトV70G-MAX、本商品など）が接続できます。DSUを未使用にできないタイプの場合は、そのINSネット64用通信機器にS/T端子があれば、本商品のDSUを未使用にすることにより接続することができます。

Q.S/T端子に他のINSネット64用通信機器を何台接続することができますか？

A.INSメイトV30S/Tユニット（オプション）を取り付けると、INSネット64用通信機器を、最大7台まで接続して使用できます。接続のしかたによって終端抵抗スイッチの設定が異なります。INSネット64用通信機器を1台接続する場合は、接続ケーブルが10 m以下であれば、終端抵抗スイッチが「ON」の状態で使用できます。

INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m以上の場合、および2～7台接続する場合は、終端抵抗スイッチを「OFF」に設定してください。また本商品から見てINSネット64用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。（●P217）

Q.電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？

A.使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが0.5 φの場合で約200 mを目安としてください。

Q.アナログポートから屋外に配線することはできますか？

A.できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q.アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？

A.一般のアナログ回線（電話回線）との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q.購入時にRS-232CケーブルやUSBケーブルは添付されていますか？

A.パソコン接続のためのケーブル類としてRS-232Cケーブル、USBケーブルがそれぞれ1本（1個）添付されています。

Q.USBポートしかないMacintosh（iMac、PowerMac、iBook、PowerBookなど）が接続できますか？

A.できます。

●ランプ表示

Q.ACTランプが遅い点滅をしています。何が原因でしょうか？

A.回線に異常があります。本商品は電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断中はPWR、ACTおよびERランプが点灯します。自己診断が終了するとACTランプおよびERランプが消灯します。自己診断が終了したあともACTランプが遅い点滅のままのときは、INSネット64回線が接続されているか確認してください。それでもACTランプが遅い点滅をする場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

Q.PWRランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？

A.乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があります。乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

Q.インターネットに接続していますが本商品のERランプが点灯しています。これは正常でしょうか？

A.ERランプのERはデータ端末レディの意味であり、パソコンが通信開始の準備ができていることを表しますので正常動作です。

Q.パソコン、電話機を使用していない状態で、本体のACTランプが点灯と点滅の繰り返しとなっています。なぜでしょうか？

A.フレックスホンサービスの着信転送または疑似着信転送を起動中です。着信転送を起動しない場合は解除してください。

●アナログポート

Q.着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の5回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？

A.アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定を「しない」にしてください。

詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q.相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？

A.出力されません。

Q.アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押してもツーンという発音音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？

A.電話機のダイヤル種別と本商品のダイヤル種別の設定を合わせる必要があります。本商品の設定はPB固定（初期値）またはDP固定のいずれかです。

Q.1つのアナログポートに複数の電話機をランチ接続することができますか？

A.1つのアナログポートには1台のアナログ通信機器を接続してください。

(前ページの続きです)

Q.アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？

A.TEL1、TEL2どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にはできません。

Q.インターネットに接続するのに「ISDNの場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？

A.パソコンにモデムが内蔵されている場合は、本商品のアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

●データポート

Q.無通信監視機能とは？

A.データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0～10分：0は監視しない／初期値10分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があります、この場合は切断されませんので必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

Q.強制切断タイマとは？

A.データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視パケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0～10時間：0は切断しない／初期値10時間）することができます。うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをおすすめします。

Q.本商品を2台対向でパソコン通信を行おうとしています、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？

A.パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。本商品は非同期／同期PPP変換、128KマルチリンクPPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q.データポートに接続したパソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信することができますか？

A.できません。パソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信する場合はアナログポートに接続してください。

Q.PIAFSでの発着信ができますか？

A.PIAFSには対応していません。

Q.128KマルチリンクPPPでプロバイダに接続できません。非同期/同期PPP変換 (64 kbit/s) では接続できます。なぜでしょうか？

A.以下の点をご確認ください。

- ①加入されているプロバイダは128KマルチリンクPPPに対応していますか？また128KマルチリンクPPP対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。
- ②モデム定義ファイルは「INSMATEV30Slim MP」または「INSMATEV30Slim USB MP」を選択されていますか。
- ③本商品とパソコン間の通信速度は230.4 kbit/sで使用することをおすすめします。Windows対応機種で使用する場合、お使いになるパソコンが230.4 kbit/sに対応していないときは、230.4 kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cボードを別途ご用意ください。Macintoshで使用する場合は、230.4 kbit/s対応の機種をお使いください。115.2 kbit/sで使用する場合は、十分な通信速度が出ない場合があります。
- ④リソースBODを使用しない状態でアナログポートを使用していませんか？

Q.128KマルチリンクPPP接続時は料金が高くなりますか？

A.非同期/同期PPP変換の倍の料金が必要です。ただしINSテレホーダイご利用の場合は、INSテレホーダイによる料金となります。

Q.リソースBODの設定をして128KマルチリンクPPP接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが (Bチャンネル1本削除)、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A.当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です (月額料金：無料)。着信時すでにBチャンネルの空きがない (インターネット接続でBチャンネル2本使用中) 状態でもDチャンネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q.スルーブットBODを利用して時間帯によりBチャンネル接続数を自動変更することはできますか？

A.時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q.Windows®パソコンのモデムの詳細情報またはモデムの照会を参照するとAT11~4以外が「ERROR」表示等となりますが正常でしょうか？

A.正常です。本商品は「AT11~4」以外はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q.データポートのコールバック機能はありますか？

A.ありません。

Q.非同期/同期PPP変換で接続したとき、どこで確認できますか？

A.ACTランプが緑色に点灯することで確認できます。

(前ページの続きです)

Q.128KマルチリンクPPPは利用しないように設定できますか？

A.モデム定義ファイルとして「INSMATEV30Slim SYNC」または「INSMATEV30Slim USB SYNC」を選択すれば、128KマルチリンクPPP接続はできなくなります。

Q.RS-232Cの信号線のER信号を「常時ON」にすることはできますか？

A.できます。設定ユーティリティのデータポート設定内にある「ER信号制御」で「常時ON」としてください。また、ATコマンドのAT&D0でも可能です。

Q.INSなりわけサービスの機能がわからないのですが？

A.アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INSなりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用して一般の電話回線からの電話を識別するには当社とのINSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q.ATコマンドで発信する場合、相手の電話番号と着サブアドレスの区切り子は何でしょうか？

A.区切り子は/です。(例) ATD*****/*

Q.Macintosh用フリーウェア利用時のダイヤルアップ初期化コマンドを教えてください。

A.非同期/同期PPP変換（同期：64 kbit/s）ATQOV1\$N9=10\$N11=0&DOX0
128KマルチリンクPPP（同期：128 kbit/s）ATQOV1\$N9=10\$N11=1&DOX0
※0は数字です。

●S/T端子（オプション）

Q.S/T端子とデータポートの同時利用はできますか？

A.それぞれBチャンネル1本の利用であれば可能です。

Q.S/T端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？

A.できます。ダイヤルイン番号の設定はS/T端子に接続した機器に設定してください。

Q.S/T端子に接続したINSネット64用通信機器でリソースBODが使えますか？

A.使えません。リソースBODは本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q.データポートに接続したパソコンとS/T端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？

A.できます。ただしINSネットのBチャンネルが2本とも空きの場合です。

●バージョンアップ/設定ユーティリティ/モデム定義ファイル/CCLファイル**Q.ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？**

A.本商品に添付されているCD-ROMの中のイーザーウィザードをパソコンにインストールして、イーザーウィザードの [バージョンアップ] をクリックします。またはイーザーウィザードの [設定ユーティリティ] をクリックして、設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「ファームウェアバージョン」にて確認することができます。また、本商品のファームウェアバージョンアップにともない設定ユーティリティもバージョンアップされることがあります。その場合の設定ユーティリティのバージョン確認は設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「設定ユーティリティバージョン」にて確認することができます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行ったあと、通信料金、詳細履歴を確認したらすべてクリアされていましたがなぜですか？

A.ファームウェアバージョンアップを行う際、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダー設定」の内容はクリアされます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容がクリアされることはないでしょうか？

A.バージョンアップを行う前の状態で保持されます。ただし、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダー設定」の内容はクリアされます。

Q.INSタイムプラスを利用していますが、設定ユーティリティの「料金情報」で確認すると3分9円で累積されていますがなぜでしょうか？

A.本商品の「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在INSタイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出不されるためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際にはINSタイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。

Q.他のINSメイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルはINSメイトV30Slimでも利用可能ですか？

A.利用できません。設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは機器に添付されている物をご利用ください。

Q.モデム定義ファイルをなくしてしまいました。ホームページからダウンロードできますか？

A.ダウンロードできます。

Q.アップルリモートアクセス (ARA) 用の非同期CCLファイルは準備されていますか？

A.本商品は非同期通信に対応しておりませんので準備されておりません。

Q.ユーティリティをアンインストールしたいのですが？

A.Windowsの場合、[スタート] ボタンをクリックして [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [INSメイトV30Slim ユーティリティ] - [INSメイトV30Slim ユーティティアンインストール] をクリックします。その後、画面の説明に従い操作します。
Macintoshの場合、[INSメイトV30Slim] フォルダをごみ箱にドラッグします。
なお、USBドライバ、モデム定義ファイル、CCLファイルは削除されません。

アルファベット

- ACT (Active) ランプ25
- ATコマンド202
- CD-ROM20,202
- COMポート
通信ポート選択72
- DP固定31
- DSU29
すでにお持ちのDSUを
ご使用になるには215
- ER (Equipment Ready) ランプ25
- FAX自動転送137
- FAX無鳴動着信139
- FG端子26
- HLC設定159
HLCの設定で呼び分ける149,159
- INSキャッチホン116
すべての電話をキャッチする161,169
優先着信ポート指定と組み合わせて
使う119
- INSなりわけサービス120
- INSナンバー・ディスプレイ142
相手の名前を表示するには146
アナログポートの簡単設定で
設定する50,62
キャッチホンと組み合わせて
利用する144
- INSナンバー・リクエスト144
- INSネット64のサービス17
INSキャッチホン116
INSなりわけサービス120
INSナンバー・ディスプレイ142
INSボイスワープ160,167
INSボイスワープセレクト160,167
i・ナンバー148,150
三者通話126
着信転送160,162
通信中転送131
ネーム・ディスプレイ146
発信者番号通知140
フレックスホン18
- INSボイスワープ160,167
無応答時転送161
無条件転送160
話中時転送161
- INSボイスワープセレクト160,167
- INSマジックボックス161,169
- INSメッセージ到着お知らせサービス135
- i・ナンバー148,150
アナログポートの簡単設定で
設定する53,65
モデムダイヤルイン154
- Lモード133
- MSG (Message) ランプ25,133,135
- OS
Q&A225
パソコンのOSと使用できる
データポート36
- PWR (POWER) ランプ25
- Q&A225
- RS-232Cケーブル24
- RS-232Cポート26
RS-232Cポート用ドライバを
削除する201
インタフェース218
パソコンとの接続36
- S/T端子212,230
- S/Tユニット210
- SD/RD (Send Data/
Receive Data) ランプ25
- TEL1ポート26
- TEL2ポート26
- USBケーブル24

USBドライバ

Windows®でUSBドライバを 使用できないとき	190
アップデートする	194
インストールする	41,45,55
イーザーウィザードが 利用できないとき	202
削除する	195
USBポート	26
パソコンとの接続	36

五十音**【ア行】**

アナログポート	26
Q&A	227
アナログポートの簡単設定	50,62
電話機から機能を設定する	170
イーザーウィザード	
USBドライバを インストールする	41,45,55
アナログポートを設定する	50,62
インターネット接続の 設定をする	83,90
インストール	
Mac OS	55
Mac OS X	59
Windows®	38
インターネット	
インターネット接続の 設定をする	83,90,98
インターネットに うまく接続できないとき	104
インターネットに 接続する	86,88,96,101
接続するまでの手順	80
オプション	210

音量

受話音量を調節する	109
-----------	-----

【カ行】

回線接続端子	26
カレンダー設定	76
乾電池	27
疑似キャッチホン	117
アナログポートの簡単設定で 設定する	50,62
疑似三者通話	127
疑似着信転送	160,162
疑似なりわけ	121
機能	16
キャッチホン	116
INSキャッチホン	116
INSナンバー・ディスプレイと 組み合わせて利用する	144
アナログポートの簡単設定で 設定する	50,62
疑似キャッチホン	117
すべての電話をキャッチする	169
なりわけと組み合わせて利用する	123
両方のアナログポートに電話機を 接続しているとき	119
キャッチホン・ディスプレイ	144
切替モード	126,128
グローバル着信	152
故障かな?と思ったら	219
コネクタ形状	218
【サ行】	
サービス	
INSネット64のサービス	17
サービスガイド	16
サブアドレス	158
サブアドレスも表示する	143
サブアドレスを指定して 電話をかける	109
特定の電話機を呼び出す	149,158

- 参考情報77,202
- 三者通話126
 - 疑似三者通話127
 - フレックスホン三者通話126
- 識別リングング122,123
- 自己診断30
- 終端抵抗スイッチ217
- 手動設定202
- 受話音量調節109
- 仕様237
- 初期化203
- セキュリティ (着信拒否)122,123
- 接続29
 - INSネット64回線の接続29
 - Q&A225
 - アナログ通信機器を1台のみ
 - 接続する31
 - 外付けDSUを使う215
 - ダイヤル式 (DP) のアナログ通信
 - 機器を接続する31
 - 他のINSネット64用通信機器を
 - 接続する216
 - 電話機などの接続31
 - パソコンとの接続36
- 接続機器の設定159
- 接続早わかりガイド20
- 設定
 - 設定一覧172
 - 設定をお買い求め時の状態に
 - 戻す203
 - 電話機から機能を設定する170
- 設定記入シート202
- 設定ユーティリティ
 - カレンダー設定76
 - 起動67
 - 基本操作73
 - 通信ポート選択72
 - メニュー画面73
- セット内容24
- 外付けDSU215
- 【タ行】**
- ダイヤルイン148,152
 - アナログポートの簡単設定で
 - 設定する54,66
 - モデムダイヤルイン156
- ダイヤル桁間タイマ109
- ダイヤル式 (DP)31,109
- ダイヤル終了識別109
- ダイヤル種別31,109
- 着信110
 - お話し中にかかってきた電話に出る118
- 着信音
 - キャッチホン着信音で相手を
 - 識別する123
 - 着信音が鳴る電話機を指定する115
 - 着信音で相手を識別する120
 - 着信音を鳴らさずにファクスを
 - 受信する139
- 着信拒否110,124
 - 非通知の着信を拒否する125
- 着信転送
 - 疑似着信転送160,162
 - 着信転送 (フレックスホン)160,162
 - 停止/再開166
- 通信中着信識別通知123
- 通信中転送131
- 通信料金
 - 各ポートの料金情報73
- 停電27
- データ通信
 - 詳細履歴73
- データポート
 - Q&A228
 - 設定73
- 電源アダプタ24
- 電源アダプタコード端子26

転送

- お話し中に別の電話番号に
転送する……………131
- 外からの電話を別の相手に
転送する……………162
- 電話機からファクスへ
自動転送する……………137
- 内線で転送する……………114

電池

- 電池カバー……………26
- 電池動作モード……………27
- 電池ホルダ……………26

電話機コード……………24**電話番号**

- 電話番号が通知されない着信を
拒否する……………125
- 電話番号が通知されないときに
メッセージで応答する……………144
- 電話番号の通知のされかた……………140

電話を受ける……………110

- お話し中にかかってきた電話に
出る……………118
- 電話に出られないときの
いろいろな方法……………160

電話をかける……………108

- 電話がかけられることの確認……………33

同期64 kbit/s……………84,92,100**動作の確認……………30****【ナ行】**

- 内線機能の停止……………113
- 内線着信ナンバー・ディスプレイ……………113
- 内線通話……………112
- 内線転送……………114
 - 電話機からファクスに転送する……………110
- 内線呼出信号設定……………113
- 内蔵DSUスイッチ……………211,217

なりわけ

- INSなりわけサービス……………120
- キャッチホンと組み合わせで
利用する……………123
- 疑似なりわけ……………121

なりわけ動作設定……………120,121**ナンバー・ディスプレイ……………51,63**

- INSナンバー・ディスプレイ……………142
- アナログポートの簡単設定で
設定する……………50,62

ネーム・ディスプレイ……………146**【ハ行】****バージョン……………231**

- 設定ユーティリティのバージョンを
確認する……………73

バージョンアップ……………206,231**パソコン活用編……………77,202****パソコンとの接続……………36****発信……………108**

- 発信規制……………109

発信者番号……………140

- 一般回線からの電話番号も
表示する……………142
- 発信者番号通知……………140

非通知……………140

- 非通知の着信を拒否する……………125
- 非通知理由……………144

非同期／同期PPP変換……………25**ファクス**

- 着信音を鳴らさずに受信する……………139
- 電話機からファクスに転送する……………110
- 電話機からファクスへ
自動転送する……………137
- ファクスを受ける……………110
- ファクスを送る……………108

フッキング……………113

- フレックスホン……………18
 - INSキャッチホン……………116
 - 三者通話……………126
 - 着信転送……………160,162
 - 通信中転送……………131
- ヘルプ……………73
- 保守サービスのご案内……………238
- ボトムカバー……………26
- 【マ行】**
- マルチリンクPPP……………25
- ミキシングモード……………126,129
- 迷惑電話防止……………124
- モデムダイヤルイン……………148,154
 - i・ナンバーを利用する場合……………154
 - ダイヤルインを利用する場合……………156
- 【ヤ行】**
- 優先着信ポート指定……………115
- 呼出音
 - 内線の呼出音を変える……………113
- 呼び分け……………148
- 【ラ行】**
- ランプ表示……………25,227
 - センタにメッセージが
 - あるとき……………133,135
 - 着信転送、疑似着信転送が
 - 行われているとき……………166
- リセット処理……………178
- 【ワ行】**
- 話者切替タイマ……………130,132

仕様

回線	適用回線	INSネット64	
	通信交換方式	Bチャンネル回線交換	
	接続インタフェース	6ピンモジュラジャック	
	インタフェース形態	P-MP接続	
	レイヤ1起動種別	呼毎起動または常時起動	
RS-232Cポート	電気的条件	ITU-T勧告 V.28準拠	
	論理的条件	ITU-T勧告 V.24準拠	
	物理的条件	D-SUB9ピンコネクタ	
	端末速度 (kbit/s)	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) ()内はV.28規格外
	通信速度 (kbit/s)	非同期/同期変換	64/128
	接続手順	ATコマンド	
フロー制御	RS/CS		
USBポート	端末速度	非同期 12 Mbit/s	
アナログポート	6ピンモジュラジャック×2 約-48 V給電 (待機時) 極性反転あり ナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ/キャッチホン・ディスプレイ対応		
使用電源	AC100 V±10 V (50/60 Hz) 乾電池によるDC9 V (停電時)		
消費電力	約9 W		
外形寸法	約174 mm (高さ) ×約134 mm (奥行) ×約49 mm (幅)		
質量	約0.6 kg (電源アダプタ含む)		
使用条件	温度0~40℃ 湿度20~85% RH (結露しないこと)		

S/T点インタフェース (オプション) : 8ピンモジュラジャック

1
USBド
ライバ

2
RS-232C
ポート用
ドライ
バにつ
いて

3
参考に

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ トークニーナ
0120-109217

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO